

高齢者と障害者の  
生活保護世帯増加

## 2月・厚労省調査

厚生労働省は8日、2月に生活保護を受給した利用世帯は約163万8千世帯で1年前より減少したものの、65歳以上の「高齢者」と「障害者」の世帯では1年前より増えたとする調査結果を公表しました。

一時的な保護停止を含む生活保護の2月の利用者は211万5368人で、利用世帯は163万8384世帯でした。いずれも前年同月比で減少し、利用者は2万6530人減、利用世帯は568世帯減でした。

一時的な保護停止を除く利用世帯の類型別に見ると、1年前より、「高齢者」と「障害者」では増加し、「母子」「傷病者」「その他」では減少しました。このうち「高齢者」は2万4671増の86万9761世帯で、利用世帯全体の5割を超え、うち9割が単身世帯でした。「障害者」は3212増の19万7830世帯で、10カ月連続で増えました。

「高齢者」と「障害者」以外は、「母子」が9万2145世帯、「傷病者」が22万2767世帯、失業者を含む「その他」が25万3562世帯となりました。